
プロフィール

●葵 トリオ

第67回ミュンヘン国際音楽コンクール（2018年）のピアノ三重奏部門で、日本人団体として初の優勝を受賞した、現在最も注目を集めるピアノ三重奏団です。

ピアノ三重奏の王道の演目だけでなく、演奏機会の少ない作品や邦人作曲家の曲目にも光を当てる活動が高い評価を得ていて、ピアノ三重奏の世界を開拓し続けています。

東京藝術大学、サントリーホール室内楽アカデミーで出会い、2016年にトリオを結成。「葵/AOI」という団体名は、3人の名字の頭文字（秋元、小川、伊東）をとり、「葵」の花言葉の「大望、豊かな実り」に共感して名付けられています。

好評を博したサントリーホールでのコンクール優勝記念公演に続き、これまでにトッパンホール、紀尾井ホール、フィリアホール、びわ湖ホール、いずみホールなど国内の主要ホールのほか、ミュンヘン、バイロイト、バーデン＝バーデン、ケルン、ハンブルク、イタリア、フランス、チェコなどヨーロッパ各地で出演しています。

2021年1月に札幌交響楽団とベートーヴェンの三重協奏曲を、12月には名古屋フィルハーモニーとカゼッラの三重協奏曲を協演して好評を博しました。紀尾井ホールでは2021～2023年度のレジデント・シリーズを務め、サントリーホールとは2021年から7年間のプロジェクトが進行しています。

マイスター・ミュージックから「ハイドン27番&シューベルト2番」と「ベートーヴェン1番&メンデルスゾーン2番」の2枚のCDをリリースしており、両ディスクともレコード芸術誌で特選盤に選ばれて好評を得ています。2022年11月に独ヘンスラー社から「マルティヌー1番&ドヴォルザーク3番」を、2023年1月にナミ・レコードから「シューマン1番&シューベルト1番」をリリースしています。

第28回青山音楽賞バロックザール賞、第29回新日鉄住金音楽賞フレッシュアーティスト賞（新日鉄住金音楽賞は2019年4月から日本製鉄音楽賞に改称）、第22回ホテルオークラ音楽賞を受賞、第34回ミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞。

これまでに日本で伊藤恵、中木健二、花田和加子、原田幸一郎、堀正文、松原勝也、山崎伸子に学び、ミュンヘンでフォーレ四重奏団のD.モメルツに師事。ヨーロッパと日本で公演活動を続けています。

●小川 響子（おがわ きょうこ）（ヴァイオリン）



奈良県橿原市出身。東京藝術大学、同大学院修士課程を修了。ベルリン・フィルハーモニー・カラヤンアカデミーを終了。

第10回東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞、リヨン国際室内楽コンクール二重奏部門第3位を受賞。

ツェルマット音楽祭や東京・春・音楽祭等、国内外の音楽祭の参加。サントリーホール室内楽アカデミー第3期、第4期フェロー。室内楽奏者、ゲストコンサートマスター等、国内外で活動しています。2024年4月より名古屋フィルコンサートマスターに就任。

●伊東 裕（いとう ゆう）（チェロ）



奈良県生駒市出身。東京藝術大学音楽学部を経て、同大学院修士課程を修了。

第77回日本音楽コンクールチェロ部門第1位、徳永賞を受賞。

関西フィル、日本センチュリー、神戸市室内合奏団、藝大フィルなどと協演。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、小澤征爾音楽塾オーケストラ、武生国際音楽祭、北九州国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、東京・春・音楽祭、などに参加。

サントリーホール室内アカデミー第3期フェロー。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京都交響楽団首席奏者。

●秋元 孝介（あきもとこうすけ）（ピアノ）



兵庫県西宮市出身。兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部、同大学院音楽研究科修士課程をそれぞれ首席で修了。

第2回ロザリオ・マルシアーノ国際ピアノコンクール 第2位、第10回パデレフスキ国際ピアノコンクール 特別賞などを受賞。

各地でソロリサイタルを開くほか、オーケストラとの共演や室内楽公演、アウトリーチ活動も積極的に行っている。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。現在は、東京藝術大学大学院博士後期課程に在籍しながら日本とドイツで演奏活動を行っています。